



SUPPORTING
CHINA
BUSINESS

LT Commerce Consultants (Shanghai) Co., Ltd.

2010 年 5 月 25 日

「LT 会」会報第 10-9 号（総 67 号）

上海良図商務諮詢有限公司

1～4 月の商務状況の紹介 ——5 月 17 日中国商務部の定例記者会見より

5 月 17 日、中国の商務部が定例記者会見を行った。同部の姚堅・スポークスマンから発表された、中国の 1～4 月の商務状況に関する各種データ等をご紹介します。

一、国内マーケットの状況

4 月の社会消費品の小売総額は 11,510 兆元に達し、同期比 18.5% の増加となった。3 月と比べて、増加率は 0.5 ポイント上昇し、去年同期比 3.7 ポイント上昇した。

消費市場に下記の特徴が見られる：

1. 都市部と農村部共に増加率が上昇した。4 月は、都市部が同期比 18.9% 増え、農村部が同期比 16% 増えた。3 月と比べて、増加率はそれぞれ 0.4 と 0.6 ポイント上昇した。
2. ハイエンド商品の販売が急速に増えたのに対し、生活必需品の販売の増加は緩やかであった。4 月の千社の重点小売業者の売上から見れば、金・銀・真珠類は同期比 29.2% 増え、1 月から 4 ヶ月連続して 20% の増加率を続けている。自動車と家電類は同期比 27% と 22% 増え、3 月と比べて、増加率は 3.8 と 4.7 ポイント上昇した。通信器材類は同期比 18.3% 増え、3 月と比べて、増加率は 3.7 ポイント上昇したが、これは 2008 年以来の増加率の最高値となった。
- それに対して、4 月の服装と靴・帽子類は同期比 14.6% と 8.3% 増えたが、増加率は 3 月と比べて、0.8 と 4.6 ポイント減った。
3. 農産品価格の変動は平穏であった。4 月に、全国 36 の中大型都市で、食用農産品の総合平均価格は 3 月より 0.5% 下落したが、同期比 5.2% 上昇した。

二、対外貿易

税関の統計によると、1～4 月に、全国の輸出入額は 8,559.9 億米ドルに達し、同期比 42.7% 増えた。その内、輸出は 4,360.5 億米ドル、29.2% 増え、輸入は 4,199.4 億米ドル、60.1% 増えた。

同期間の対外貿易には下記の特徴が見られる：

1. 輸出超過の規模は大幅に下落した。同期間に、輸入増加率は輸出増加率より 30.9 ポイント上回った。このような状況は、去年 5 月以来一年間続いてきたものである。

同期間の輸出超過は 161.1 億米ドルであり、2009 年 10 月以来の 7 ヶ月目の輸出超過額の下落が見られた。その内、加工貿易と外商投資企業が輸出超過の主な原因となり、加工貿易は 845.7 億米ドル、外商投資企業は 215.6 億米ドルの輸出超過であったのに対して、一般貿易は 393 億米ドルの輸入超過であった。

これは、中国の輸出超過はグローバルな分業に緊密に関係することを物語っている。

2. 新興国マーケットへの輸出増加率は主な伝統的マーケットより高かった。アセアン、ロシア、インド、オーストラリア等新興国マーケットへの輸出が 45.6%、44.9%、36.8%、32.6% 増えたのに対して、欧州連合、アメリカ、日本への輸出は 30.4%、19.6%、19.5% しか増えなかった。

これは、中国の主な輸出先となる先進国の経済復興が比較的緩慢で、中国の輸出回復が制限されたことを物語



SUPPORTING
CHINA
BUSINESS

LT Commerce Consultants (Shanghai) Co., Ltd.

った。

3. 企業の貿易環境に対して慎重な態度を持ちつつあった。第 107 回中国輸出入商品交易会(4 月 15 日開始、5 月 5 日終了、計 3 期 15 日)において、成約額は 2008 年同期比 10. 3%減った。為替レートの変化、コストの上昇などを懸念したため、長期間の契約は少なく、3 ヶ月以内の契約が成約全体の 53%を占めた。

三、外資利用

1. 1~4 月に、新規に設立された外資系企業は 7, 506 社、前年同期比 20. 27%増えた。外資利用実績金額は 307. 89 億米ドル、前年同期比 11. 28%増えた。

その内、製造業の外資系企業は 2, 986 社、前年同期比 19. 1%増え、外資利用実績金額は 144. 8 億米ドル、同期比 7. 2%減り、全国の 39. 8%と 47%を占めたが、前年同期比 0. 4 と 9. 4 ポイント下落した。サービス業の外資系企業は 3, 820 社、前年同期比 22. 9%増え、外資利用実績金額は 139. 2 億米ドル、前年同期比 31. 1%増え、全国の 50. 9%と 45. 2%を占めた。

2. 4 月に、中央政府が公布した《外資利用に関する新たな指導意見》の実施に関して、商務省は下記の努力をしている。

(1) 関係部門と協力して《外商投資産業指導目録》の修正に努め、外国企業への開放分野を更に拡大する。

(2) 外商投資企業が出資して投資性会社(傘型企业)を設立することに関する規定を修正し、多国籍企業が中国に地域本部と R&D、調達、決済のセンター等の機能性機構を設立することを奨励する。

(3) R&D センターに対する支援策を完備し、国内外の企業間の協力を奨励する。

(4) サービス・アウトソーシングの発展計画を制定し、国際的なサービス・アウトソーシングに関する政策措置を着実にする。

(5) 関連政策と資金面の支援を拡大して、《中西部地区外商投資産業指導目録》を修正し、外資の中西部への移転と投資増加を導く。

(6) 国家級経済技術開発区の模範・影響などの機能を強化し、特に中西部地区の開発区の投資環境の改善を支持し、所在地区の開放的経済発展の先導者にさせる。

(7) 審査事項を減らし、権限を下部に譲り、引き続きオンライン審査を実施する。審査内容を簡略化し、外商投資企業の契約・定款の様式化の審査を試し、投資の便利化を進める。

(8) 法律規定を完備し、外商投資の新方式を出し、創業投資と私募基金を奨励し、“資金の誘致”と“知恵の誘致”の結合を促進する。

四、対外投資と経済協力

1. 対外直接投資:

1~4 月に、国内の投資者は、103 の国・地域にある 1, 305 社の外国企業に対して直接的な投資をした、非金融類の対外直接投資額が 114 億米ドルに達した。その内、M&A による直接的な投資額は 25 億米ドルに達し、同期間の直接投資額の 22%を占めた。

2. 対外工事の請負:

1~4 月に、完成した工事業務の営業額は 230. 8 億米ドル、同期比 28.7%増えた。新規工事業務の契約金額は 366. 4 億米ドル、同期比 17. 8%減った。

3. 対外労務協力:

1~4 月に、完成した労務協力業務の営業額は 28. 1 億米ドル、同期比 4. 5%増えた。新規労務協力業務の契約金額は 27 億米ドル、同期比 17. 4%増えた。

以上